

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(70歳代女性)あり、型別はO157(VT1VT2)です。本年の累積報告数は17例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- デング熱の報告が1例(女性, 20歳代)あります。推定感染地域は国外(タイ)で、推定感染経路は蚊媒介です。これまでに京都市内で報告されているデング熱は、全て海外の流行地で感染し、帰国後に発症する輸入症例です。本年の累積報告数は8例となっています。
- アメーバ赤痢(腸管外アメーバ症)の報告が1例(男性, 40歳代)あり、症状は発熱・肝膿瘍です。本年の累積報告数は16例となっています。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(60歳代女性, 70歳代男性)あります。本年の累積報告数は21例となっています。
- 次週(第37週)の発行は、平成27年9月24日(木)の予定です。

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

- 京都市におけるRSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.27となり、3週連続で報告数が増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例(第35週追加分)【1月以降の累積報告数 17例】
- 四類: デング熱 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- 五類: アメーバ赤痢(腸管外アメーバ症) 1例(第35週追加分)【1月以降の累積報告数 16例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 21例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

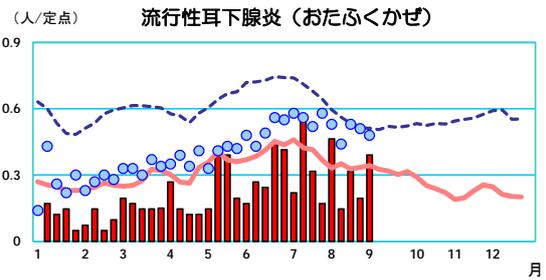
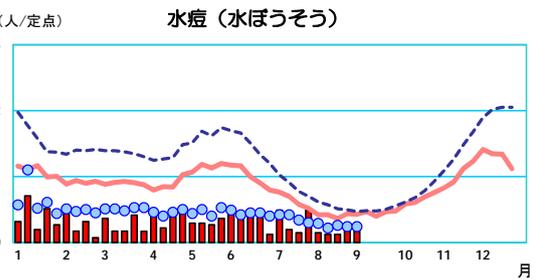
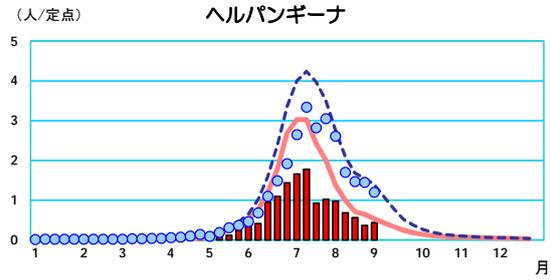
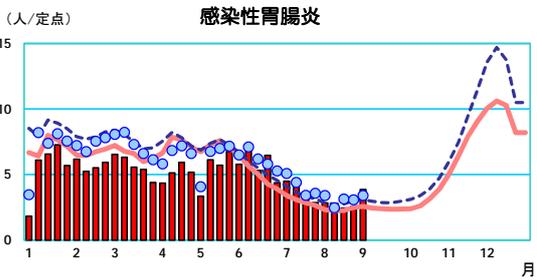
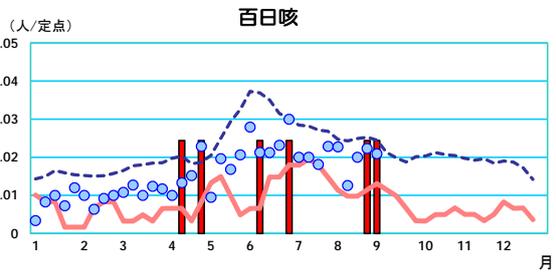
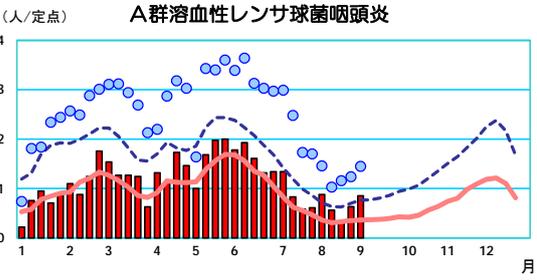
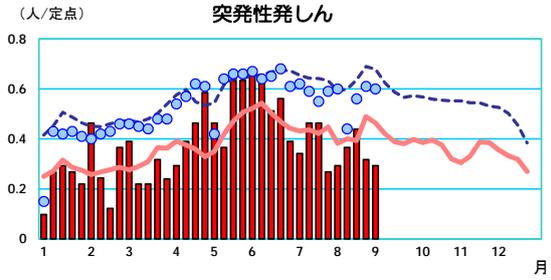
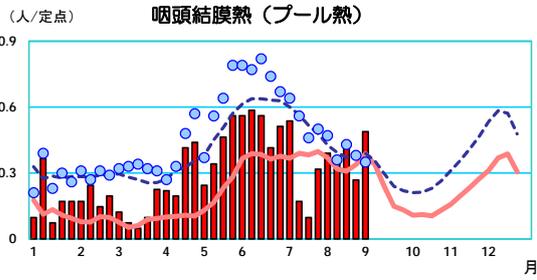
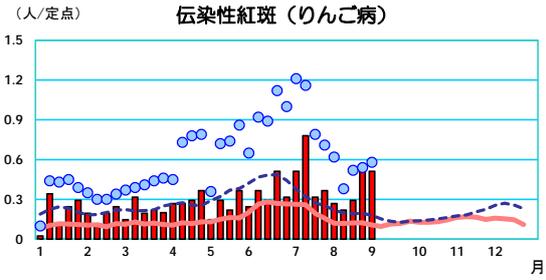
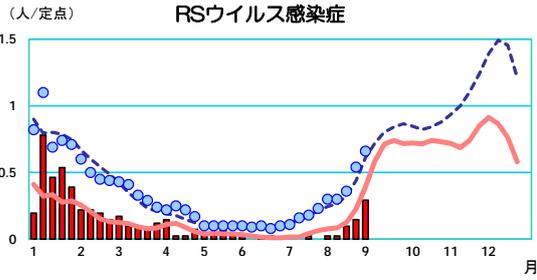
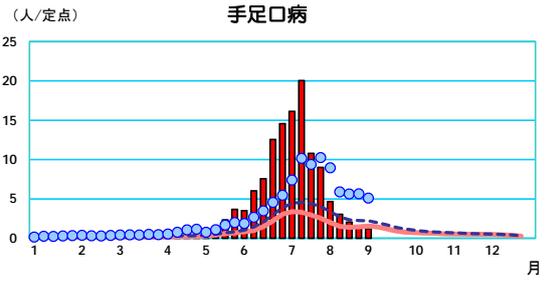
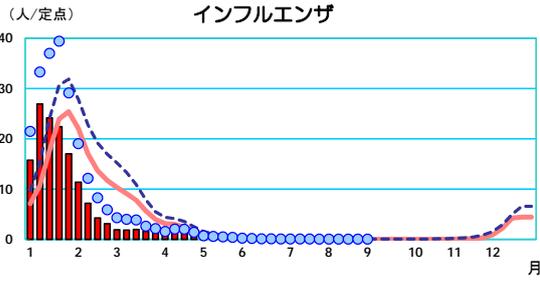
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.85	158
	② 手足口病	1.20	49
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.85	35
	④ 伝染性紅斑	0.51	21
	⑤ 咽頭結膜熱	0.49	20
眼科	流行性角結膜炎	0.90	9

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成27年9月10日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

ヘルパンギーナ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第36週(8月31日～9月6日)トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市及び全国の発生動向

京都市におけるRSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.27となり、3週連続で報告数が増加しました。RSウイルス感染症の流行は例年夏頃から始まり、秋に入ってから患者数が急増します。年齢階級別割合は、2歳以下で全報告数の90%前後を占めており、本年も同様の傾向が見られます。

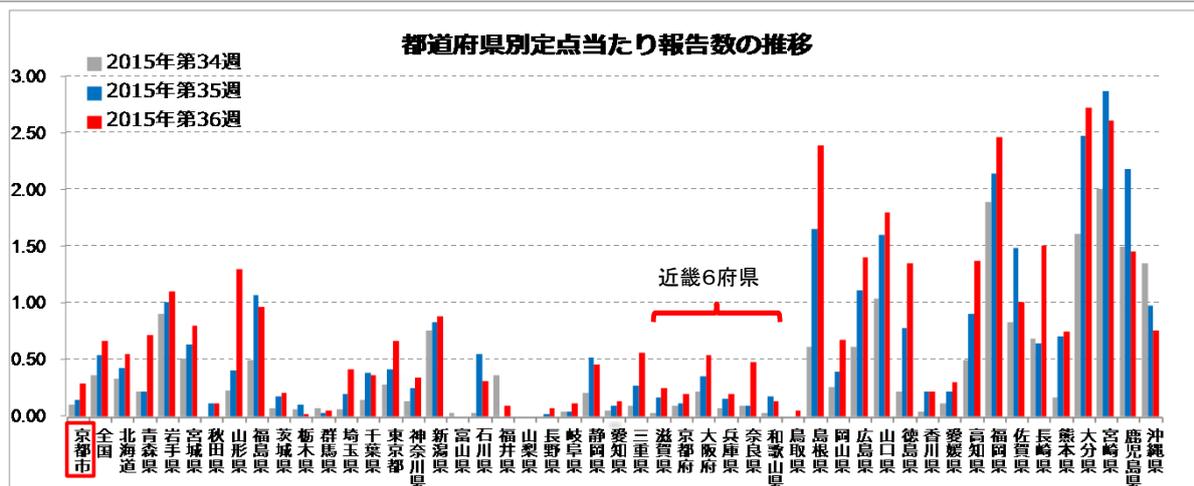
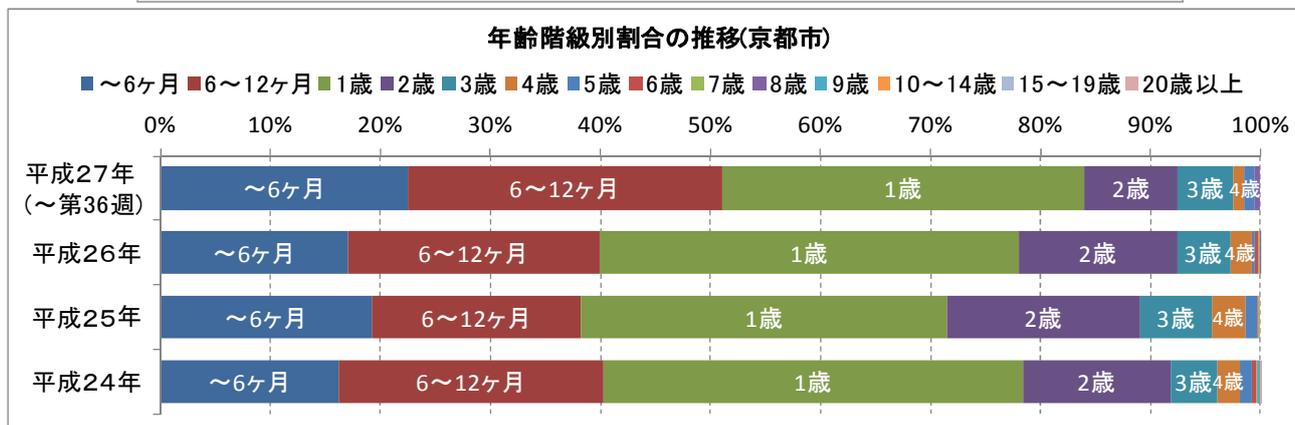
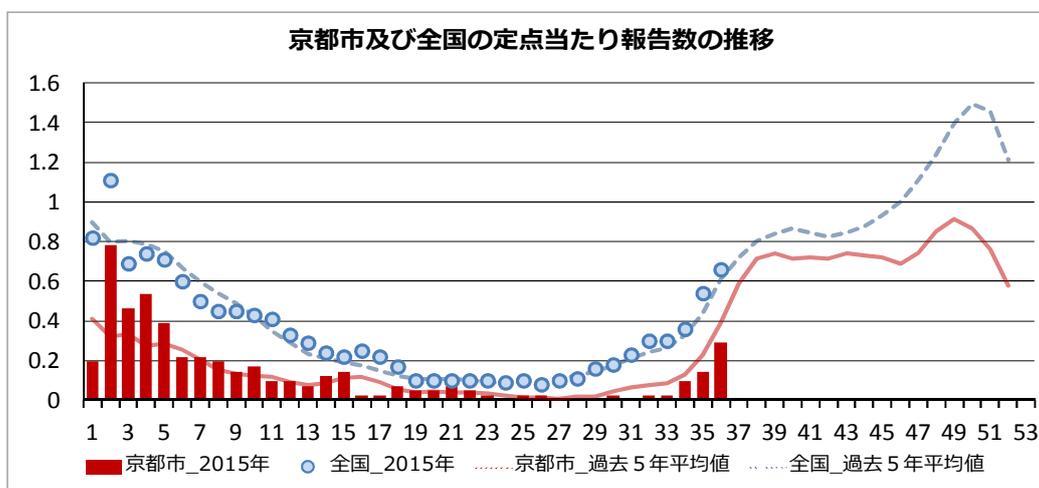
全国の定点当たり報告数(0.66)も3週連続で増加しました。都道府県別では、多い順に大分県(2.72)、宮崎県(2.61)、福岡県(2.46)となっています。33都道府県で前週より増加しており、今後の発生動向に注意が必要です。

症状

RSウイルス感染症は、RSウイルスを病原体とし、乳幼児に多い呼吸器感染症です。通常4～6日間の潜伏期間を経て発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。多くは軽症ですが、重症になるとひどい咳、喘鳴、呼吸困難などの症状が現れ、場合によっては細気管支炎、肺炎へと進んでいきます。低出生体重児や、心臓や肺に基礎疾患があったり、神経や筋肉の疾患あるいは免疫不全のある場合には重症化のリスクが高まります。重篤な合併症としては、無呼吸発作、急性脳症等があります。

感染経路及び予防

感染経路は飛沫感染と接触感染で、発症の中心は0歳児と1歳児です。咳等の呼吸器症状がある年長児や成人は可能な限り0～1歳児との接触を避けることで、乳幼児の感染予防に繋がります。乳幼児に日常的に接する人は、咳などの呼吸器症状があれば、飛沫感染対策としてマスクを着用することが大切です。接触感染対策としては、子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどをこまめに消毒してください。流水、石鹸で手洗いを行い、アルコール消毒剤の使用により手指衛生を励行しましょう。



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第36週

疾病,行政区別報告数

平成27年8月31日～平成27年9月6日

データ入手日:平成27年9月10日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	3	1	3	5	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	3	1	3	5	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	2	-	3	2	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	2	1	2	21	1	9	2	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
中京	-	2	-	-	9	-	3	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	3	-	1	19	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	2	11	4	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	1	1	14	1	3	1	2	-	5	2	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	7	4	17	-	12	10	1	-	-	4	-	5	-	-	-	-	-
伏見	-	-	2	7	42	3	11	6	4	-	8	7	-	2	-	-	-	-	-
西京	-	-	6	2	24	-	7	1	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	12	20	35	158	7	49	21	12	1	18	16	-	9	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点点あたり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	0.75	0.25	0.75	1.25	-	-	-	0.25	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	0.75	0.25	0.75	1.25	-	-	-	0.25	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	0.67	-	1.00	0.67	0.33	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	0.50	0.25	0.50	5.25	0.25	2.25	0.50	0.25	-	0.25	-	-	1.00	-	-	-	-	-
中京	-	0.67	-	-	3.00	-	1.00	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1.50	-	0.50	9.50	-	1.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	0.50	2.75	1.00	-	-	0.25	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	0.50	0.50	0.50	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	0.33	0.33	4.67	0.33	1.00	0.33	0.67	-	1.67	0.67	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	1.40	0.80	3.40	-	2.40	2.00	0.20	-	-	0.80	-	5.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.29	1.00	6.00	0.43	1.57	0.86	0.57	-	1.14	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-
西京	-	-	1.50	0.50	6.00	-	1.75	0.25	0.25	-	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.29	0.49	0.85	3.85	0.17	1.20	0.51	0.29	0.02	0.44	0.39	-	0.90	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第36週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年8月31日～平成27年9月6日

データ入手日:平成27年9月10日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	12	3	2	4	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	20	-	2	5	3	2	1	2	1	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	35	-	-	2	2	4	4	10	1	2	1	1	4	1	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	158	2	17	27	20	14	9	12	7	8	5	5	13	4	15	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	7	-	1	2	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	49	1	3	18	11	3	2	5	1	1	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	21	-	-	1	-	3	7	2	3	2	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	12	1	4	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	18	-	2	7	3	3	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	16	-	-	-	2	2	7	1	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	9	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	1	2	1	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	0.29	0.07	0.05	0.10	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.49	-	0.05	0.12	0.07	0.05	0.02	0.05	0.02	0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.85	-	-	0.05	0.05	0.10	0.10	0.24	0.02	0.05	0.02	0.02	0.10	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	3.85	0.05	0.41	0.66	0.49	0.34	0.22	0.29	0.17	0.20	0.12	0.12	0.32	0.10	0.37	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.17	-	0.02	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	1.20	0.02	0.07	0.44	0.27	0.07	0.05	0.12	0.02	0.02	0.05	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.51	-	-	0.02	-	0.07	0.17	0.05	0.07	0.05	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.29	0.02	0.10	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.44	-	0.05	0.17	0.07	0.07	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.39	-	-	-	0.05	0.05	0.17	0.02	0.02	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.90	-	-	0.10	-	-	-	0.10	0.10	-	-	-	0.10	-	0.10	0.20	0.10	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第36週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年9月10日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	2	-	-	-	3	-
RSウイルス感染症	-	1	1	4	6	12
咽頭結膜熱	13	16	14	18	11	20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	36	23	14	26	35
感染性胃腸炎	117	116	114	100	105	158
水痘	20	6	5	5	11	7
手足口病	369	191	125	84	66	49
伝染性紅斑	15	11	9	12	22	21
突発性発しん	11	12	15	18	13	12
百日咳	-	-	-	-	1	1
ヘルパンギーナ	42	40	28	23	15	18
流行性耳下腺炎	7	19	6	13	8	16
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	1	4	4	4	9
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	625	449	344	295	291	358

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	0.03	-	-	-	0.04	-
RSウイルス感染症	-	0.02	0.02	0.10	0.15	0.29
咽頭結膜熱	0.32	0.39	0.34	0.44	0.27	0.49
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.61	0.88	0.56	0.34	0.63	0.85
感染性胃腸炎	2.85	2.83	2.78	2.44	2.56	3.85
水痘	0.49	0.15	0.12	0.12	0.27	0.17
手足口病	9.00	4.66	3.05	2.05	1.61	1.20
伝染性紅斑	0.37	0.27	0.22	0.29	0.54	0.51
突発性発しん	0.27	0.29	0.37	0.44	0.32	0.29
百日咳	-	-	-	-	0.02	0.02
ヘルパンギーナ	1.02	0.98	0.68	0.56	0.37	0.44
流行性耳下腺炎	0.17	0.46	0.15	0.32	0.20	0.39
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.10	0.40	0.40	0.40	0.90
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	15.53	11.03	8.69	7.50	7.37	9.41

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。